

て活発に審査

予算審査特別委員会報告

平成17年度予算審査特別委員会が3月16日・17日の2日間にわたり開催され、一般会計および特別会計（7会計）と水道事業会計の新年度の予算について活発な審議を行った。予算審査の過程の中で各委員から質問のあった事項を要約して掲載します。

NPO国際パークゴルフ協会の交付金

Q NPO国際パークゴルフ協会交付金は廃止の方向であったと思うが、なぜ予算計上されているのか。

A パークゴルフ発祥の地としての責任は、行政として果たすべきものもあると考えており、当初、町が負担していた国際大会の費用を、今は国際協会が負担していることから交付金を計上した。

事業のあり方によっては、減額していくことも視野に入っているし、役割分担については、スムーズに協会に引き継いでいただけ

るようにお願いをしていきたい。



団体等も協働のまちづくり事業の対象に

Q 協働のまちづくり事業の目的を達成させるという意味では、公区に限らず、特に町長が認める団体も該当することの周知を町民にすべきでないか。

A 事業展開にあたって、第1段階として、地縁的な組織である公区を対象とした。

目的をもった団体や企業も対象として視野に入っているが、まだ検討している段階であり、その団体とも協議させていただき、拡大

していく方向で検討していきたい。

協働の町づくり事業での防犯対策

Q 協働のまちづくり支援事業交付金の中の防犯支援とは、防犯マップのようなものを想定しているのか。

A イメージとしては、防犯マップというよりももっと総合的な内容になる。地震・火災の起きた際の安否確認の方法をどうするか、地震が起きた際の一時的な集合場所をどこにするか、最悪の事態を想定した場合の炊き出しの方法をどうするか等、具体的な内容にしたい。

役場職員のネームプレート

一トの改善

Q 職員のネームプレートは、役場で決めたものや手製のもの、課で決めたものがあるが、統一性がとれていない。

A 管内的に見ても大きなものに変えていくという流れもあり、検討しなければ

ならない課題と理解している。

住民に分かりやすいものというところで研究していきたい。

所得税の確定申告の受付体制

Q 所得税の確定申告において、札内支所にすべての職員が行ってしまつて本庁舎では受付できないことがあるが、このことに対する対応が必要ではないか。

A 譲渡所得だとかの専門的な申告になると、なかなか両方で一度にとつてわけにはいかないが、還付申告等についてはどんな手法がとれるのか、少し検討したい。

土づくり支援事業補助金の減額の理由

Q ふるさと土づくり支援事業補助金が減額になっているが、クリーン農業、あるいは農業生産の中ではどうしても堆肥が必要であり、良質堆肥をつくすためにも切り返し、あるいは刈り取り

といったことから、予算を減らすことにはならないのではないかと。

A ふるさと土づくり支援事業補助金の予算総体枠を3割ほど減額しているが、忠類村では、緑肥事業あるいは土壌の透水性といったことも行っており、今後、新たな土づくり事業についてどうあるべきなのかということも含めて、新たな土づくり事業としてメニューを考えていきたい。

保育士の研修体制

Q 常設保育所、へき地保育所の保育士の研修についてどのように取り組んでいるのか。また、研修の機会が少ないという声を聞か

A 保育士の研修については年3回研修会を実施している。また、幼稚園でも研修を行っているので、一緒に研修ができるよう今年度から考えていきたい。

ごみ有料化の減免措置に代わる福祉施策は

Q ごみの有料化に係わる

予算案について

紙おむつの減免措置は、福祉政策として、今後、考えていくことであるが、新年度に向けて数字として表れていないが、どう考えているのか。

Q 忠類村との合併協議の中で、忠類は減免規定をもっていたが、廃止する方向で協議が整った。

A 減免としては考えないが、福祉施策としての具体的な手法については、18年度に向けて、具体的な施策について進めていきたい。

Q 札内スポーツセンターなどの公共施設を利用するときに、水道光熱費ぐらいは町民の負担があっても良いのではないか。

A 現状の財政状況の中で、何とかやりくりしているのかどうかを将来見通しを立てる中で考えていかなければならないと思っている。

公共施設の利用者負担

Q 交通安全指導員の配置を

A 交通安全指導員の配置が減少しているが、防犯上の大きな役割を果たしていることから、良い方向で拡充をしていただきたいと思うが。

交通安全指導員の適正配置を

Q 指導員の配置は、小学校1、2年生を対象として配置している。全体の配置を見直した中で、判断をしている。防犯の関係については、今後、教育委員会と調整し検討したい。

Q 学校給食の残食が減るような体制づくり

A 毎日つくる学校給食の残食が日々発生しているが、メニューの更新も視野に入れた中で、残食が毎回減っていくような体制づくりが必要ではないか。

学校給食の残食が減るような体制づくり

Q 学校給食の残食は各メニューごとに調査しているが、その中で、確かにものによっては、6割、7割残食として戻ってくる場合がある。

A いろいろな食品をバランスよく取り入れるということも大事なことであるが、学校給食での残食のデータをもとに、子どもたちに喜ばれる良い給食、献立づくりを意を用いていきたい。

Q 明野ヶ丘スキー場のシーズン券の発行

A 明野ヶ丘スキー場ではファミリーゲレンデに特化した料金体系を決めてきた。忠類との合併により、白銀台スキー場と明野ヶ丘スキー場の二つのスキー場を持つことになるが、料金体系や減免規定を整理していく中で、シーズン券のことも検討したい。

Q 明野ヶ丘スキー場でのシーズン券が発行されていないが、今後、発行の考えはないのか。



児童生徒の在校時における防犯対策

Q 近年、学校で児童生徒の在校時に凶悪犯罪が発生しているが、職員室から生徒玄関が見えない部分について、児童生徒に対する安全対策はどのようになっていくのか。

A 生徒玄関等見えづらい部分に防犯カメラ等を設置している学校もあるが、教員にホイッスルを持ってもらい、不審者が入った場合にはホイッスルでまわりの教職員に連絡する、あるいは催涙スプレーを各学校に配付、緊急用に鳴らせるブザーを各教室に配置して対応している。

Q 今年が戦後60年、併せて被爆60年である。

A 今年が戦後60年、併せて被爆60年である。これまで図書館とか支所でパネル展をやったり、平和図書の取り組みもされてきたが、平和団体とも共同しながら進めていく、町民のいろいろな声も含まれたイベントをやる必要があるのではないか。

Q どういった団体とどういったことができるのかについては、少し研究をさせていきたい。

Q 戦後60年のイベント

A 今年が戦後60年、併せて被爆60年である。

※質疑は主なものを掲載しています。

平成17年度予算歳出額

(億円)

会計名	予算額	
一般会計	127.09	
特別会計	国民健康保険	23.60
	老人保健	26.42
	介護保険	11.84
	簡易水道	2.31
	公共下水道	16.52
	公共用地取得	0.21
	個別排水処理	1.60
水道事業会計	15.06	
計	224.65	
※町民一人当たり	約88.1万円	